



No.69
2025.7.2
発行：特定非営利活動法人
所沢市学童クラブの会
広報委員会
所沢市くすのき台2-20-6
Tel：04-2994-6753

安松いろえんぴつクラブ開所



安松いろえんぴつクラブは、二〇二五年四月、新たにスタートした民設民営の学童クラブです。安松小学校のすぐ向かい、住宅街の中にあります。

二名の子とも達が在籍しています。開所から二か月、子ども達もだいぶいろえんぴつクラブの生活に慣れてきました。生活の流れ、二階での過ごし方、おやつ準備や食育方など、生活する上でのルールや約束



「押し入れ」は、みんな大好きなあそび場です



4月、記念樹「ヤマボウシ」を子ども達と植えました。花言葉は「友情」です



「自分」の作品を飾りたい！」「夏祭りをしたい！」など、いろえんぴつクラブでやりたいことをたくさん出してきて、指導員としても、とても嬉しい＆楽しみです♪

開設にあたり、多くの方々から遊具や本な

どの寄付をいただきました。皆様のご理解とご協力、応援のもと、無事に開設できました。本当にありがとうございます！



いろえんぴつ美術展・いつも子ども達の作品でいっぱいです

ようこそ一年生 〜一年生からの意見あれこれ〜

この四月から小学校に通いはじめ、学童に入所してきた一年生。何もかも初めての経験で、目を輝かせることもあれば、保育園や幼稚園と違い、自分で歩いて帰ってくる学童に足が向かない気持ちになることも。

そんな一年生が話すことばに耳を傾けると、なかなか興味深い。一年生なりの思いや考えに、愛しく感じたり、時にははっとさせられたりすることもあります。

指導員は子どもたちの思いやつぶやきを受け止めて、日々の生活を子どもたちといっしょにつくっていきま

若松学童クラブ

学童のルールの確認などで一年生会議をしていた時のこと。「学童で困ったこととか嫌なこととかない？」と聞いたところ「学童嫌だよ」という発言が。「何が嫌なの？」

「汚いしぼろいし。嫌なんだよ」「そっか、古い建物だもんね。だからこそ大切に使用しないとね。誰か大工になって工事してくれてもいいけどね」

「じゃあ俺大きくなったら大工さんになって工事してあげようか？ああでももう電車の運転手と警察官になるって決めてたんだ」「じゃあ僕が大工さんになってあげようか？まだ決まってるないし」「それなら二階建てにする？」など

三ヶ島学童クラブ

「一輪車会議」

三ヶ島学童クラブには一輪車が四台あります。

四月新しいお友達が増え、一輪車人気が一気に高まりました。高まったのと同時に「一輪車乗りたいけど。順番がわからない」「誰に言えばいいの？」「誰に次かせばいいのかな？」という声が聞こえてきました。

二年生の女の子に「一輪車交代の仕方についてちゃんと

会議の趣旨とは違った形になりましたが、盛り上がっていました。

並木学童クラブ

一年生が学童に入るとまずは一輪車に目が行くようです。毎日一輪車の練習をしている好子ちゃん（仮名）は練習バーから手は離せているのになか



なか前へ出られません。指導員から「もう手が離れているから思い切って前へ出てこら

決めた方がいいかな？」と聞くと、大きくうなずいてくれたため、翌日子どもたち「一輪車の順番交代がちよつとわかりづらくなってしまっているから、どうしたらいいか話し合いたいです。一緒に考えてくれる子は会議をするので集まってください」と呼びかけたところ、一年生二人、二年生三人が集まってきて、一輪車会議スタートです。

「どういう風にしたらみんなが一輪車使いやすいかな？」と投げかけると、二年生女の子「今は誰と約束したかわからなくなるから、表を作って、やりたい人が名前を書くのがいいと思う」その意見に頷く他の子たち。その意見を聞いた一年生男の子は「一回に乗れる時間を長くしたい」一年生女の子からは「表に名前を書くときは平仮名で書いてほしい」と意見がでました。そして、みんなの意見集めた一輪車交代表が無事に完成して、現在その表を活用し、多くの子どもたちが一輪車に乗れています。



ん」と言われるも「う〜ん：ちよつと怖い」と不安なよう。そこに一緒に遊んでいた三年生が「大丈夫だよ！やってみたら」と応援もあり思い切った手を離して漕ぐことができました。指導員が「遠くの鉄棒を見て漕いでごらん」と伝えると勇気を出して校庭の真ん中をぐいぐい漕いでいき汗だくになりながら出た言葉は「乗れた！」「できた！」ではなく「気持ちいいー！」ととてもいい笑顔でした。



新人職員紹介

質問項目

- ①子どものころ好きだった遊び
- ②意気込み
- ③特技、好きなこと

大野 敦久

三ヶ島学童クラブ



- ①野球・レゴブロック遊び
 - ②子どもたちが安全に安心して時を過ごせるように努め、子どもたちと共に成長出来るように全力で務めます。
 - ③美味しいものを食べることで。
- オートバイ（小型二輪車）で山道を走ること

佐藤 彩美

牛沼学童クラブ



今日のおやつはなあに？

おいしい時間

上新井すぎのこクラブ

すぎのこクラブでは、「班おやつ」を大事にしています。小グループからコミュニケーションをとって、話が出来る、お友だちの事を知り、仲良くなれたらとの思いから班おやつを大切にしています。

おやつは「補食」

学童期でも必要な栄養素を3度の食事だけでは補えないために食事と食事の合間に軽い食事で補います。

子ども達は、お菓子ではないものが出ると、「こんなの

- ①一輪車、ドッチボール
- ②毎日、学ぶことが沢山あって、本当に充実しています。沢山関わって、沢山悩んで、子どもたちと一緒に成長していけたらと思います。
- ③バレーボール

おやつじゃない！」「アイスがいい！ポテチがいい！！」と言いますが、「おやつは、お菓子だけじゃないし、栄養とバランスを考えて、出しているんだよ。少しでも食べてくれたら嬉しいな。食べられない、食べたことがない子は無理しないで教えてね」「まずは、減らして一口でも食べてみよう」と伝えていきます。

また、季節も感じられるような食材も取り入れています。いろいろな味を経験することで味覚が広がるので「一口は、食べてほしい。」と思っています。

おやつを作る上で「匂い」も大事です。台所でおやつを作っている「匂い」がすると、子ども達が「あっ！今日は、〇〇だね」「おいしそうな匂い」「好き好き」「早くおやつ食べたらい」と嬉しそうにおやつのお時間を楽しみにしてくれています。「匂いにつられて・・・」とは、このことです。

すぎのこクラブの子ども達に、学童のおやつの大切さを伝えた数日後のことです。この日のメニューは、「わかめか塩のおにぎり・きゅうりの塩漬け・ミニゼリー」

「今日のおやつはおにぎりだ

よ」と聞いて、ちょっとがっかりした様子の子ども達。「自分達で握ってもらいます」と伝えると「えー！」。

しかし、いざご飯をよって握り始めると「見て見て！うまくない？」「三角じゃなくて丸じゃんと、形や大きさが様々なおにぎりを友達同士で見せ合っている姿がとても楽しそうでした。

「美味しい」の笑顔でおにぎりを頬張る姿を見て、子ども達にとって楽しいおやつのお時間となるように、今後も手作りおやつを行っていきたいと思いました。





佐藤 萌末 指導員

北秋津コロニアン学童クラブ

学童では「めぐみん」と呼ばれています。昨年は六年生の男の子から「めぐめぐ」と呼ばれていた時期もありました。

「コロニアンクラブの子どもたちは、手先が器用な子、クリエイティブな子が多いです。自己流のミサンガの編み方を生み出

したり、レゴやラキューで大作を作ったり、ゲームを作って楽しんだりするのが得意です。

四月最初の雨の日には、「ウッチャー2」という子ども発信のオリジナルゲームが生まれて大盛り上がりしていたのが印象的でした。

また、手作りおやつの際にキラッキラの瞳で「何作ってるの?」「今日はめぐシエフの日か!」と興味津々で覗いてくる顔がかわいいです。

指導員として大切にしていることの二つ目は、「子どもより子どもらしく」「子どもと同じ目線で喜怒哀楽を共有していけるように心がけています。学校や家とはちょっと違う「目線が近い大人」がいるというの

は学童ならではの思っています。しかし、毎日つましくわけではないので試行錯誤しています。せっかちなのもっとおらかに子どもたちと関わってきたいです。

二つ目は、たくさん子どもたちに頼ることです。みんながいつも助けてくれるので、いつも「ありがとう」と伝えるように意識しています。

三つ目は、自分が好きなものを発信することです。好きな本やマンガを本棚に入れてみると、子どもたちも気に入ってくれたり、保護者の方からも「懐かし〜!」などと会話のきっかけになったりすることもあります。子どもたちからも「〇〇が好きなんだけど、知ってる?」と好

きなものを教えてくれるようになります。子どもが教えてくれたものは、時間があるときにときどきチェックしています。

子どもたちにはこの先、好きなものや好きなことをたくさん見つけてほしいと思います。食べ物でもスポーツでも本でもゲームでも芸能人でもYouTubeでもなんでもいいです。いつか辛いときや困難な状況になっってしまったとき、好きなもの・好きだったことは、自分を助けてくれる力になることがあります。

たくさん情報が目まぐるしく飛び交う時代ですが、子どものときにしか見つけられないものもたくさん発見してほしいと思います。

編集後記

子ども家庭庁によれば、二〇二五年四月から「こども未来戦略加速化プラン」として、「両親が共に育休を取った場合、手取り一〇割相当を支給(最大二十八日)」。また、「子どもの看護休暇を小学校三年生修了までに引き上げ、感染症による学級閉鎖等やこどもの行事(入園(入学)式・卒業式)にも活用可能なんだとか。(詳しくはこども家庭庁HP)

娘が保育園を休むのに、妻が午前中休みを取って娘を見ていて、私が午後休みを取って急いで帰って妻とバトンタッチして娘を見る。それを三日連続。

「なかなかキツかったよ。」という話を子育て真っ最中の娘夫婦に話した。そうだったのか、という感じで娘は聞いていた。けど、そんなことが武勇伝で語られない、キツくないようにならないといけないよね。そういう社会でないと。

子育て中のみなさん、頑張りましょう。遅まきながら国も応援しています。

(光本)



学童クラブの会のHPはこちらからご覧下さい。

